

## トヨタ、カルディナをフルモデルチェンジ

— 2.0ℓ ツインカムターボを搭載したスポーティグレード「GT-T」を新設定 —

トヨタ自動車(株)は、ミディアムステーションワゴン「カルディナ」をフルモデルチェンジし、本日より全国のトヨタ店ならびにトヨペット店を通じて一斉に発売した。

カルディナは、フォーマルからレジャーまであらゆるライフシーンに応え、多様に使える室内空間が特長のミディアムステーションワゴンとして、高い評価を得てきた。

今回のフルモデルチェンジでは、高性能ツインカムターボを搭載したスポーティグレードの新設定に代表される走る楽しさの進化とともに、ワゴンとしてのユーティリティと外形デザインのさらなる洗練、そして時代要請に応え、環境・安全への一層の配慮を図っている。

### 1. ドライビングプレジャーを実感できる走り

- ・ 最高出力260PSを発揮するツインカムターボエンジン(3S-GTE)やステアリングに設けたスイッチでシフト操作が可能な新開発のオートマチック「スポーツステアマチック」を設定。
- ・ 走行安定性を高めるスタビライザーをフロントとリヤに全車標準装備したほか、リヤパフォーマンスロッド、前後輪に適切な駆動力を配分する新4WDを設定。

### 2. 走る楽しさを演出する室内空間と外形デザイン

- ・ 開放的かつ静粛性に優れたキャビンを実現するとともに、デッキアンダートレイを全車標準装備するなどカーゴスペースのユーティリティを一新。
- ・ スタイリッシュなヨーロピアンテイストのフォルムとした上で、特にGT系はスポーティさを強調。

### 3. 多面的な環境への配慮

- ・ 平成10年排出ガス規制をいち早くクリアしたクリーンなディーゼルターボエンジン(3C-TE)や低燃費を実現したリーンバーンエンジン(7A-FE)を搭載したほか、リサイクルを考慮した素材を積極的に採用。

### 4. 世界トップレベルの安全性

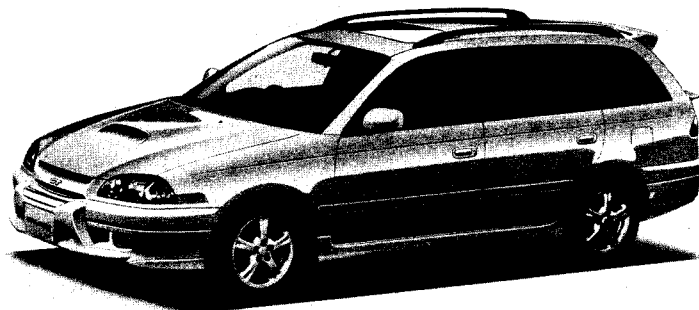
- ・ ABSの全車標準装備と画期的な車両安定性制御システムVSC<sup>\*1</sup>ならびに新予防安全技術ブレーキアシストを設定。
- ・ 衝突安全ボディGOA<sup>\*2</sup>、頭部衝撃を緩和する構造のインテリアの採用および、プリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト、デュアルSRS<sup>\*3</sup>エアバッグの全車標準装備のほか、SRSサイドエアバッグを全車にオプション設定。

なお、GT-Tのオートマチック車およびSRSサイドエアバッグのオプション装着車の発売は、11月4日を予定している。

\*1 VSC: Vehicle Stability Control (車両安定性制御システム)

\*2 GOA: Global Outstanding Assessment (世界トップレベルの安全性評価)

\*3 SRS: Supplemental Restraint System (乗員保護補助装置)



カルディナ 2.0 GT-T [E-ST215W-DWMZZ] <オプション装着車>

【車両概要】

1. ドライビングプレジャーを実感できる走り

パワフルな2.0ℓツインカムターボエンジンの搭載や、フロントおよびリヤスタビライザーの全車標準装備などにより卓越した走行性能を実現。

(1) パワートレーン

▷ GT系には、空冷式インタークーラー付ターボにより、クラストップレベルの最高出力、最大トルクを実現した2.0ℓツインカムターボエンジン（3S-GTE）と、VVT-i<sup>\*4</sup>の採用により最高出力を25PS、最大トルクを1.5kg・m（オートマチック車）高め、燃費も約15%（オートマチック車）向上させた2.0ℓスポーツツインカムエンジン（BEAMS<sup>\*5</sup> 3S-GE）をラインアップ。

\* 4 VVT-i：Variable Valve Timing-intelligent（連続可変バルブタイミング機構）

\* 5 BEAMS：Breakthrough Engine with Advanced Mechanism System  
（先進機構を備えた画期的エンジン）

▷ 加えて、ガソリンエンジンには、実用域で扱いやすく滑らかな走りを実現した2.0ℓハイメカツインカムエンジン（3S-FE）と、軽快な応答性と低燃費（17.6km/ℓ [10・15モード走行：マニュアル車]）を両立した1.8ℓリーンバーンエンジン（7A-FE）をラインアップ。

▷ さらに、高効率なターボチャージャー、電子制御式燃料噴射ポンプなどにより、優れた動力性能と燃費、クリーンな排出ガスを実現した2.2ℓディーゼルトーボエンジン（3C-TE）を新搭載。

<搭載エンジンの主要諸元>

|       | エンジン   | 駆 動 | 排気量<br>(cc) | 最高出力<br>(PS/rpm) | 最大トルク<br>(kg・m/rpm) | 10・15モード燃費 (km/ℓ) |          |
|-------|--------|-----|-------------|------------------|---------------------|-------------------|----------|
|       |        |     |             |                  |                     | マニュアル車            | オートマチック車 |
| ガソリン  | 3S-GTE | 4WD | 1,998       | 260/6,000        | 33.0/4,400          | 11.0              | 10.2     |
|       | 3S-GE  |     |             | 190/7,000        | 21.0/6,000          | —                 | 10.8     |
|       | 3S-GE  |     |             | 135/6,000        | 18.5/4,400          | 12.6              | 11.4     |
|       | 3S-FE  | 2WD | 1,762       | 140/6,000        | 19.0/4,400          | —                 | 12.0     |
|       | 7A-FE  |     |             | 115/5,400        | 15.8/2,800          | 17.6              | 15.4     |
| ディーゼル | 3C-TE  | 4WD | 2,184       | 94/4,000         | 21.0/2,200          | —                 | (21.5*)  |

※60km/h 定地走行の値

(2) ドライブトレーン

▷ GT-Tには、センターディファレンシャルとビスカスカップリングを組み合わせたフルタイム4WDを採用するとともに、オートマチック車（Super ECT）には、高効率トルクコンバーターとフレックスロックアップシステムを採用し、優れたドライバビリティと燃費を実現。

さらに、ステアリングから手を離さずにシフト操作を可能とする新開発のスポーツステアマチックに加え、道路のアップダウンの状況を的確に判断することで変速頻度を低減する登降坂変速制御システムを採用し、軽快でスムーズなドライビングを提供。

▷ その他 [GT、G、E] の4WD車には、リヤディファレンシャルにビスカスカップリングを配置し、軽量かつコンパクトなシステムとしたV<sup>\*6</sup>フレックスフルタイム4WDを採用。通常の走行ではFFに近いトルク配分を行い、コーナリング時や滑りやすい路面などでは後輪に適切なトルクを配分することで優れた操縦性・走行安定性を実現するとともに、燃費向上にも寄与。

\* 6 Vは「Viscous Coupling（ビスカスカップリング）」を意味する

▷ GT-T（マニュアル車）とGTのリヤディファレンシャルにトルセンLSDを標準装備し、旋回時や滑りやすい路面での左右輪のスリップを抑え、トラクションを確保することで安定したコーナリングを実現。

### (3) シャシー

- ▷ サスペンションは、信頼性の高いストラット式4輪独立懸架を採用した上、旋回時の車体のロールを抑えるスタビライザーをフロントとリヤに、パフォーマンスロッドをリヤに新採用し、様々な走行条件下でより安定した走りと快適な乗り心地を提供。
- ▷ GT系には、さらにツインポットキャリパーを備えた大容量15インチベンチレーテッドフロントディスクブレーキをはじめ、フロントパフォーマンスロッドを標準装備し、スポーティグレードにふさわしいより機敏な操縦性と高い走行安定性を実現。

## 2. 走る楽しさを演出する室内空間と外形デザイン

開放的かつ静粛性に優れた室内空間と、機能性を重視した装備の充実を図るとともに、個性的な2種類の外形デザインを採用。

### (1) 室内空間

- ▷ インテリアは、センタークラスターからコンソールボックスまで連続的な造形とし、乗員を包み込むスポーティな空間を演出。また、オートエアコンとUVカットガラス(全ドアガラス)を全車に標準装備したほか、AC100V・100Wまでの家庭用電気製品が使用できるアクセサリコンセント〔GT系、G〕、リヤ席にカップホルダー付センターアームレスト〔GT系、G〕、センタークラスター部に6枚のCDが収納できるインダッシュCDチェンジャー〔GT系〕を採用するなど、便利な装備を充実。
- ▷ キャビンはヘッドクリアランスとリヤレッグスペースに十分な余裕を確保し、カーゴスペースはフラットなデッキを実現するクッション引き起こし式のリヤシートをはじめ、デッキアンダートレイ、デッキフックを全車に標準装備し、快適で使いやすい室内空間を実現。
- ▷ FM多重放送(交通情報、天気予報)および平均車速、燃費などを表示するマルチインフォメーションディスプレイ〔GT系に標準装備〕や、AV機能とGPSボイスナビゲーションシステムを一体化し、VICS受信機器も接続可能な5.8型ワイドマルチAVステーションII〔全車にオプション設定〕を運転席からの視線移動の少ないインストルメントパネル中央上部に配置。
- ▷ 好評のクラス最大の開口(約60cm)が可能な電動開閉式ムーンルーフ(スライディングルーフガラスはUVカットおよび熱線反射機能付)を装備したエアリアル仕様を設定し、より開放的な室内空間を創出するとともに、開閉をワンタッチ作動とすることで使用性を向上。
- ▷ GT系には、専用のスポーツシート、ブルーメーター、本革巻きステアリングホイールに加え、精悍なイメージのディンプルテクスチャーパネルをセンタークラスターやパワーウインドウのスイッチベースに採用するなど、スポーティさを一段と際立たせる装備を充実。
- ▷ ボディ剛性を高めるとともに、制振材、吸・遮音材の採用部位を拡大し、効果的に配置したほか、エンジン運動部品の軽量化〔GT〕や2ウェイエキゾーストコントロールシステム〔GT系〕の採用などにより、騒音と振動を低いレベルに抑え、静粛で快適な室内空間を実現。

### (2) 外形デザイン

- ▷ 開放感ある端正なキャビンと伸びやかなサイドシルエットでヨーロッパアンテイストのワゴンスタイルを追求し、ワイドなフロントグリルと丸型4灯式マルチリフレクターヘッドランプ、丸型リヤコンビネーションランプにより、スポーティさを表現。
- ▷ GT系は、精悍さを際立たせるフロントグリル、フロントスポイラー、サイドマッドガード、リヤバンパースポイラーを装着したオリジナルデザインとして独立させるとともに、特にGT-Tには、大型エアインテーク、オーバーフェンダーを採用することで、アクティブなテイストを付加。

### 3. 多面的な環境への配慮

環境保全の観点から排出ガスのクリーン化、低燃費、リサイクルへの取り組みを積極的に推進。

- ▷ 2.2ℓ ディーゼルターボエンジン（3C-T E）は、排出ガス中のNO<sub>x</sub>（窒素酸化物）、PM（粒子状物質）を大幅に低減し、平成10年排出ガス規制（平成10年10月より適用）にいち早く適合するとともに、ディーゼル触媒を採用し、CO（一酸化炭素）、HC（炭化水素）なども低減。また、EFIシステム、燃焼室の改良および高効率ターボチャージャーの採用により、ディーゼル特有の黒煙を条件の厳しい高地においても目にみえないレベルに抑制し、よりクリーンな排出ガスを実現。
- ▷ 空力特性に優れたボディ、軽量かつ適切な駆動力を配分する4WDの採用などにより、燃費性能を向上。特に1.8ℓ リーンバーンエンジン（7A-F E）搭載のマニュアル車は、リッターあたり17.6km（10・15モード走行）の低燃費を実現。
- ▷ バンパーをはじめ、インストルメントパネルやコンソールボックスなどの内装材をリサイクル性に優れたトヨタスーパーオレフィンポリマーとしたほか、軽損傷時の交換部品を最小限に抑える二分割構造のバンパーや使用済み車両のシュレッダーダストから再生した高性能防音材（RSP P : Recycled Sound-Proof Products）を採用。

### 4. 世界トップレベルの安全性

アクティブ・パッシブ両面から世界トップレベルの安全性を追求。

#### (1) アクティブセーフティ（予防安全）

▷ 制動時の車両安定性を確保するABSを全車に標準装備。

▷ G T-Tのオートマチック車には、障害物回避のための急激なハンドル操作時や滑りやすい路面における旋回時の横滑りを抑える画期的な車両安定性制御システム・VSCをはじめ、ブレーキペダルの踏み込み速度と踏み込み量からコンピューターがドライバーの緊急制動の意思を推定し、ブレーキを強く踏めないドライバーの操作をサポートする新しい予防安全技術・ブレーキアシスト、エンジン出力と同時に全輪のブレーキを独立に制御し、滑りやすい路面における発進・加速性能を一段と高めた日本初の4WD用トラクションコントロールシステム・TRCを標準装備。

▷ 運転席後方の視界を拡大するワイドビュードアミラーを全車に標準装備するとともに、速やかに鏡面の霜や雨滴を取り除くことで視界を確保するヒーター付ドアミラー、バックウインドウへの雨や雪などの付着を抑えるLEDハイマウントストップランプ付リヤスポイラー〔G T系、G〕を採用したほか、雪や霧など悪天候下で被視認性を高めるリヤフォグランプを全車にオプション設定。

#### (2) パッシブセーフティ（衝突安全）

▷ 衝撃吸収ボディと高強度キャビンからなる衝突安全ボディGOAの採用をはじめ、フロントピラー、ルーフサイドレール、センターピラーの内装材に衝撃吸収リブを内蔵することで、将来の米国の頭部衝撃緩和基準（'98年9月より米国にて順次適用開始）レベルの性能を追求した構造のインテリアを採用。  
さらに、前面衝突時におけるリヤデッキの積み荷移動の衝撃から乗員を保護するため、シートバックフレーム、ヒンジ、ロックを強化したリヤシートを採用。

▷ 運転席・助手席の点滅式シートベルトウォーニングランプならびに前面衝突時にシートベルトを瞬時に巻き取ることで乗員拘束性能を高め、その後ベルトにかかる荷重が規定値に達した場合、その規定値を維持する構造により胸部への衝撃を緩和するプリテンショナー&フォースリミッター付シートベルトを標準装備。  
加えて、リヤ中央席を含むリヤの全席にヘッドレストとチャイルドシート固定機構を有するELR付3点式シートベルトを標準装備。

▷ デュアルSRSエアバッグを全車に標準装備するとともに、運転席・助手席SRSサイドエアバッグを全車にオプション設定。

【TECS（メーカー完成特装車）車両概要】

GT系（除くエアリアル仕様）をベースに、専用の大型フロントスポイラー、サイドマッドガード、リヤアンダースポイラーのほか、CIBIE製フォグランプを採用し、ダイナミックなエアロフォルムを演出した特装車“アクティブスポーツ”を設定。

【販売概要】

- 1. 販売店 全国のトヨタ店ならびに全国のトヨペット店
- 2. 月販目標台数 6,500台
- 3. 店頭発表会 9月20日(土)、21日(日)

【メーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

| グ レード   | エ ン ジ ン                      | 駆 動                     | トランスミッション              | 価 格* <sup>1</sup>      |
|---------|------------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|
| E       | 7 A－F E (1.8ℓ リーンバーン)        | 2 W D<br>(F F)          | 5 速マニュアル* <sup>2</sup> | 1,698                  |
|         | 3 S－F E (2.0ℓ)               |                         | E C T－S                | 1,948                  |
|         |                              | 3 C－T E (2.2ℓ ディーゼルターボ) | 4 W D                  | 5 速マニュアル* <sup>3</sup> |
|         | E C T                        |                         |                        | 2,348                  |
| G       | 3 S－F E (2.0ℓ)               | 2 W D<br>(F F)          | E C T－S                | 2,078                  |
| エアリアル仕様 |                              |                         |                        | 2,188                  |
| G       |                              | 4 W D                   | 5 速マニュアル* <sup>3</sup> | 2,223                  |
| エアリアル仕様 |                              |                         |                        | 2,333                  |
| GT      | E C T－S                      |                         | 2,598                  |                        |
| エアリアル仕様 |                              |                         | 2,708                  |                        |
| GT－T    | 5 速マニュアル* <sup>4</sup>       |                         | 2,688                  |                        |
| エアリアル仕様 |                              |                         | 2,798                  |                        |
|         | 3 S－G T E<br>(2.0ℓ ツインカムターボ) |                         |                        |                        |

◎

◎掲載写真（除くオプション）

【TECS “アクティブスポーツ” メーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

| グレード | エンジン                   | 駆動  | トランスミッション             | 価格 <sup>*1</sup> |
|------|------------------------|-----|-----------------------|------------------|
| GT   | 3S-GE (2.0ℓ)           | 4WD | ECT-S                 | 2,821            |
| GT-T | 3S-GTE (2.0ℓ ツインカムターボ) |     | 5速マニュアル <sup>*4</sup> | 2,911            |

ECT：電子制御式4速オートマチック  
ECT-S：電子制御式4速オートマチック（スポーツ）

- \*1 北海道、沖縄のみ価格が異なる。
- \*2 ECT-E [電子制御フレックスロックアップ付4速オートマチック] 車は80千円高。
- \*3 ECT-S車は75千円高。
- \*4 Super ECT [スーパーインテリジェント4速オートマチック]  
スポーツステアマチック付車は110千円高。

【トヨタ インターネット ホームページ】

http://www.toyota.co.jp/Caldina

以 上